

## 東京大学のマイクロソフト先進教育環境寄附研究部門 (MEET) が 読解力育成ソフトウェア「MEET eJournal Plus」を開発 公開デモ授業のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

国立大学法人 東京大学（本部：東京都文京区）では、マイクロソフト株式会社（本社：東京都渋谷区）の寄附により設立された「マイクロソフト先進教育環境寄附研究部門（略称：MEET; Microsoft chair of Educational Environment and Technology）」において、手書き入力のできるノートパソコン「タブレット PC」を活用した、読解力育成ソフトウェア「MEET eJournal Plus」を開発しました。このたび、本ソフトウェアを使った公開デモ授業と、記者説明会を開催させていただき運びとなりましたのでご案内いたします。

近年、大学教育の現場では、学生の読解力の低下が問題視されてきています。OECD（経済協力開発機構）の国際学力調査 PISA2003 では、高校 1 年生の読解力が、国際的に見て平均程度しかないことが明らかになりました。その子どもたちは現在、大学で学ぶ年齢になっています。

ここで問題の「読解力」とは、文章に書かれた内容を正確に取り出すだけでなく、文章内容を評価したり、それをもとに新しい知識を構築する力です。これは、知の本質と向き合い、新たな知を生み出していく大学で学ぶ上で最も必要な力です。

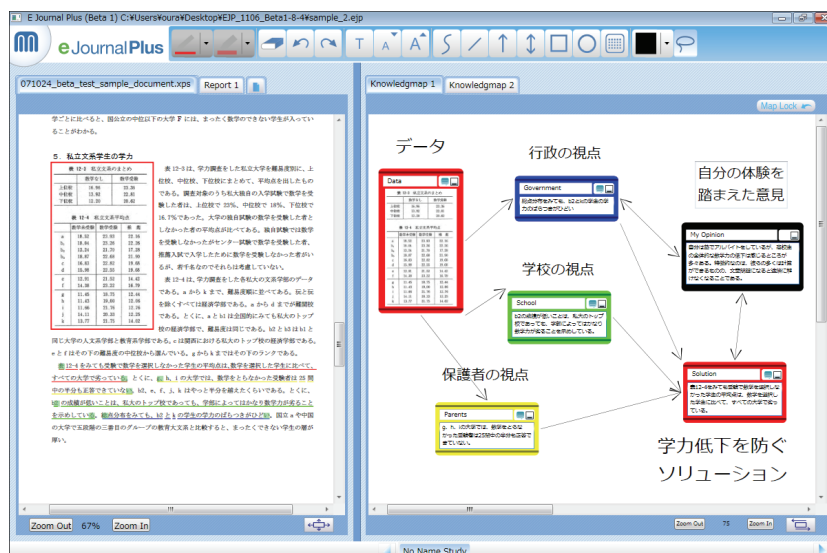
MEET eJournal Plus は、このような能力を効果的に育成するために、以下のような機能とインターフェイスを持っています。

- 文章に対してマーキングやコメントを行うとともに、ペンを使って直感的にマップに表現できる機能  
文章の論点・論拠といった重要部分を、「正確に取り出す」活動を支援し、論点を明確に理解させます。
- 文章の論点・論拠、自分の意見や推論の関係をヴィジュアル化するためのインターフェイス  
「文章の内容をヴィジュアル化する」活動を通して、学生に構造的に文章内容を理解させます。また、自分の経験や意見と対比しながら書評を執筆できる機能を持っており、「文章に書かれた事実に基づいた知識構築」を支援します。
- 学生同士の意見交換のためのネットワーク共有機能  
ヴィジュアル化した著者の論点・論拠と自分の評価・推論を、Windows サーバや Windows Live スペースを介して、相互に共有して意見交換することができます。独りよがりの文章理解や、論理的に整合しない推論を防ぎ、的確な批評を行えるようになります。

MEET eJournal Plus を用いることで、学生は、的確に捉えた論点に基づいて、高度な批判的読解をできるようになることが期待されます。

このソフトウェアは、タブレット PC のペン入力の機能を効果的に活用することができるよう、最新のフレームワークである「.NET Framework 3.5」を利用して開発されています。開発にあたっては、シリコンスタジオ株式会社（本社：東京都渋谷区）とマイクロソフトが技術協力を行いました。

今回の公開デモ授業は、東京大学初の IT 支援型協調学習空間「駒場アクティブラーニングスタジオ (KALS)」にて実施します。今回の授業は、レノボ・ジャパン株式会社（本社：東京都港区）から提供されたタブレット PC を活用して、現在実際行われている授業活動の一部をデモンストレーションするものです。学生がソフトウェアを活用して文章を可視化しながら、学生同士の議論が誘発さ



れていく新たな学習の姿をご紹介します予定です。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、是非ともご取材賜りますようご案内申し上げます。

敬具

## 記

日 時： 2007年11月30日（金）16:25～17:45 KALSを利用した公開デモ授業

〔参考〕

（開場 14:30）

15:00～16:00 東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長と報道機関等との懇談会

16:00～16:15 駒場アクティブラーニングスタジオ（KALS）記者発表

**16:25～17:45 KALSを利用した公開デモ授業**

18:00～19:00 懇親会

※懇親会は自由参加です（会費 3,000円は当日徴収させていただきます）。

概 要： KALSを利用した授業「映像と文献で追う学力論」公開デモンストレーション

東京大学 理事・副学長 岡村定矩

マイクロソフト株式会社 執行役 常務 公共インダストリー統括本部長 大井川和彦

レノボ・ジャパン株式会社 執行役員 石田聡子

東京大学 大学総合教育研究センター 准教授 中原 淳

東京大学 大学総合教育研究センター 客員准教授 望月俊男

場 所： 東京大学 駒場キャンパス 17号館2階 駒場アクティブラーニングスタジオ（KALS）  
〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

### 【駒場アクティブラーニングスタジオ（KALS）について】

駒場アクティブラーニングスタジオ（KALS）は、東京大学初のIT支援型協調学習空間です。教養学部・大学院情報学環・大学総合教育研究センター マイクロソフト先進教育環境寄附研究部門が協力して、2007年5月から運用されています。「アクティブラーニング」とは、学生自らが、複雑な情報を整理して本質的な課題を見つけ出し、その解決を目指して、様々な視点から能動的に課題に取り組む学習活動のことです。KALSは最先端のITを使って、そのような学習を実現する空間であり、東京大学が社会に提示する、「理想の教養教育」のひとつのモデルでもあります。

### 【TREE・MEETについて】

東京大学は2005年度より教育企画室の事業として、情報通信技術を用いた教育改善の全学プロジェクトTREE（Todai Redesigning Educational Environment）を展開しております。TREEの一環として、東京大学の講義を広く市民に公開する東京大学オープンコースウェアやTODAI.TVの運営、東京大学の教育・研究事業に関するニュース配信を行う東大ナビの運営のほか、マイクロソフト先進教育環境寄附研究部門（MEET）において、タブレットPCの高等教育における利用に関する研究開発などを行っています。



### 【参考 URL】

TREE プロジェクト <http://tree.ep.u-tokyo.ac.jp>

マイクロソフト先進教育環境寄附研究部門（MEET） <http://www.utmeet.jp/>

駒場アクティブラーニングスタジオ（KALS） <http://www.kals.c.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学オープンコースウェア <http://ocw.u-tokyo.ac.jp/>

TODAI.TV <http://todaitv.ep.u-tokyo.ac.jp/>

東大ナビ <http://utnav.jp>（携帯電話からのアクセスのみ）

